



PAPER COMMUNICATION 2024

平和紙業株式会社
Heiwa Paper Co., Ltd.

〒104-0033
東京都中央区新川 1-22-11
Tel.03-3206-8501
<https://www.heiwapaper.co.jp/>

平和紙業株式会社
コーポレート・レポート



トップメッセージ

Top Message

特殊な「紙」から 特殊な「素材」の販売へ 強みを活かし成長領域の育成を続けます

代表取締役社長
清家義雄



2024年3月期を振り返って

2024年3月期は、国内経済は経済活動の正常化やインバウンド需要などの回復もあり、景気は緩やかに持ち直したものの、今後の先行きについては、ウクライナ情勢や中東情勢の長期化に伴う原燃料価格の高止まり、海外経済の下振れなどのリスクは続いており、景気の見通しは不透明な状況にあります。

紙パルプ業界では、印刷・情報紙の構造的な需要減少が続く中、原燃料高騰に伴う価格改定が紙需要の冷え込みを後押しし、紙・板紙合計での国内出荷量は前期を下回りました。原燃料価格の高止まりにより、紙に限らずさまざまな消費者物価が上昇して個人消費が冷え込む中、パッケージなどの資材系コストを削減する傾向が多く見られ、本来であればデジタルシフトの影響を受けにくいパッケージ用途や家庭紙においても、サイズダウンや数量減少の影響を受けました。

このような中で、当社グループでは、「すべての関係者により高い価値を届ける」ことを経営方針に掲げ、事業の高付加価値化と需要伸長分野の深耕を目指し、主力商品である高付加価値特殊紙の販売強化に努めました。高級パッケージ用途や高級印刷紙では、回復するインバウンド需要や経済のリオープン消費、イベント事業の需要を中心に、新規需要や新規顧客の獲得に注力したほか、機能紙では、脱炭素、脱プラスチック、SDGsなどの社会ニーズに応える商材の開発・提案を進め、展示会やSNSなどを活用した継続的な情報発信も積極的に行いました。また、製紙メーカーの事業再構築に伴う抄造設備の停機などを受け、取扱商品ラインナップの高付加価値化を進めることで、顧客満足度の向上と収益性の改善を図りました。

これらの結果、販売数量は前期実績を下回ったものの、販売単価の上昇や販売体制の強化もあり、当連結会計年度の業績として、売上高は161億24百万円(前期比0.3%

目次	02	トップメッセージ
Index	04	財務ハイライト
	08	非財務ハイライト
	11	PAPER STORY
		特集：「特殊紙と印刷加工」
	13	トピックス
	15	商品紹介
	17	会社概要
	21	株式の状況
	22	事業所一覧

社是

平和を愛し、環境を重んじ、文字文化を通じ、
豊かな未来創りに役立つ企業を目指す。

トップメッセージ

Top Message

増)の増収となりました。利益面では、営業利益が1億58百万円(前期比14.3%増)、経常利益は2億21百万円(前期比15.5%増)となりましたが、前期に名古屋の固定資産売却益11億33百万円を計上したことから、親会社株主に帰属する当期純利益は大きく減少し、1億36百万円(前期比84.4%減)となりました。

中長期成長に向けて

中長期成長に向けて、現在当社が最も大きなリスクと認識しているのは、情報伝達媒体を中心とした紙からデジタルシフトへの加速化です。当社の売上構成は、パッケージ用途が比較的多いことが特徴ですが、それでも半分近くは情報伝達媒体の紙に関連した用途です。情報伝達媒体としての紙需要は今後も大きく減少すると思われ、その減収の影響をどのように埋めるかは喫緊の課題です。

そうした中で、中長期的視野で底堅い需要を期待できるのが、技術紙・機能紙です。コロナ禍での行政支援策としてのプレミアム商品券の発行に伴い好調に推移した偽造防止用紙は、コロナ禍の収束や支援策そのもののデジタルシフトの影響を受けましたが、中長期を見据えても、技術紙・機能紙、さらには化粧品や菓子などのパッケージ用途としてのファインボードは、今後も堅調に推移していくと考えます。技術紙・機能紙はニッチな市場ですが、当社はシェアを維持しており、さらなる拡大を図っていきます。

また、脱炭素や脱プラスチックの流れが社会において加速する中で、代替素材としての紙への注目も高まっており、そうした新たな需要を取り込んだ成長にも注力します。最近では、除草や肥料流出などの目的で使用される農業用マルチシートなどにおける脱フィルム需要のほか、海外では人への毒性の危険性から規制が進むPFAS(有機フッ素化合物)に代表されるフッ素系素材からの脱却としての紙の需要も顕在化してきています。和菓子の切れ端やお

茶などの食品残渣、さらには衣服断裁時に出る切れ端の繊維や化粧品の什器など、これまでならば廃棄されていたものを、フードロス削減やゼロウェイストへの挑戦といったマインドセットで取替えて回収し、紙に混ぜ込んで新しい製品として生まれ変わらせるアップサイクルの取り組み事例として複数の商品化に至りました。こうした新しい成長領域には、今後も積極的に挑戦していきます。

強みを活かし、特殊な素材を取り扱う企業へ

このような新しい取り組みを進める中で、あらためて当社の強みを考えると、それはやはり、少量多品種の販売で、豊富な在庫アイテム・在庫量を有していることだと思います。一般的な企業においては、市場が縮小する局面では、それに伴って在庫の削減を図ることが本来の王道かもしれせん。しかし当社においては、自社在庫を十分に有していることが強みであり、在庫量を極端に絞ることなく、今後もこの強みを発揮した成長を模索します。

1つの方向性として考えているのは、「特殊な紙の販売に強い」という当社の特徴をもう少し広げて、「特殊な素材の販売に強い」企業へとしていくことです。製紙メーカーも、紙に限らずセルロースナノファイバーなどの新素材を打ち出し始めています。当社においても、これまでの「紙」の解釈を広げ、「特殊な素材」という切り口で新たな展開を模索できるよう、事業開発本部を新たに創設しました。今後、紙の周辺素材についての情報収集や新しいアイデアの発掘を進めながら、全国に営業拠点と物流拠点を持つ当社の在庫流通販売機能を活かし、新たな素材メーカーや流通企業と接点を持つことで新しい商品展開や流通拡大を模索していきます。

サステナビリティ経営への注力

サステナビリティに関しては、私たちが取り扱う「紙」そ

のものが、地球環境保全に役立つ持続可能な循環型素材であり、環境的価値を有する紙の販売数量を減らさずしっかりとアピールする私たちの企業活動は、持続可能な社会づくりに貢献していると考えます。森林保全という視点での環境保全に資すると同時に、事業活動における脱炭素の取り組みについても、しっかりと目標を定めて進めています。

人的資本に関しては、ジェンダーをはじめとするダイバーシティの拡充を推進し、教育研修などの人的投資を積極的に進める方針です。営業などの各分野でのプロフェッショナル人材の育成に加え、後は経営企画や管理部門、DX推進機能の強化に資する人材を取り込みながら、価値の源泉である人的資本の強化・拡充を通じた事業成長を目指していきます。

ガバナンスに関しては、現在当社の取締役会は社外取締役1名、社外監査役2名を含む体制で、客観的な視点から貴重なアドバイスを頂戴するなど、積極的に議論に参画

いただいています。今後のガバナンス体制の強化に向けては、機関設計の変更も含め、議論を重ねて検討していきます。

ステークホルダーへ一言

キャピタルアロケーションについては、今後も株主還元とのバランスを取りながら、人的投資やM&Aも含む成長投資へと分配し、持続的成長を図っていきます。株主の皆様に向けた還元につきましては、安定的な配当の継続を最優先課題とし、順次、還元の拡充に努めていきます。

2024年度は、当社にとって中期経営計画の最終年度にあたり、この1年は次期中期経営計画の策定にも注力します。資本コストやPBR、さらには重要KPIなどの議論を進め、ステークホルダーの皆様を持続的な価値を創出できるよう努めていきますので、引き続きご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

財務ハイライト

Financial Highlights

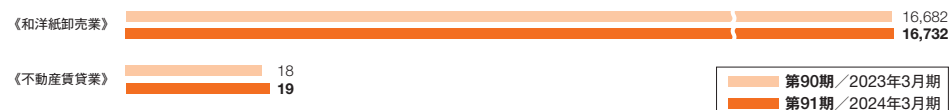
事業概況 セグメント別の状況

■和洋紙卸売業／和洋紙卸売業は、構造的な情報伝達媒体のデジタルシフトや価格安定による需要減退の影響が大きく、販売数量は減少しました。しかしながら、販売単価の上昇と経済活動の正常化による観光イベント事業などの国内需要の緩やかな回復が続いたことから、ファインボードと高級印刷紙の販売が堅調に推移し、売上高は167億32百万円(前期比0.3%増)、営業利益は1億41百万円(前期比13.8%増)となりました。

■不動産賃貸業／不動産の売買、賃貸借、管理および仲介で構成される不動産賃貸業は、概ね前期と同水準で、売上高は19百万円(前期比1.7%増)、営業利益は15百万円(前期比2.8%増)となりました。

セグメント別の売上高(セグメント間の取引消去前)

(単位:百万円)



財務ハイライト

Financial Highlights

事業概況 品目別の概況

■**ファンシーペーパー**／多様な色、表面性、風合いを持つ高付加価値特殊紙のファンシーペーパーは、コロナ禍の影響が縮減し、書籍装丁や紙製品用途、東アジア向けの輸出が堅調に推移しましたが、商業印刷物用途や紙袋用途が減少し、売上高は34億63百万円、前期比1.8%の減少となりました。

■**高級印刷紙**／独自の風合いを持ち、通常の印刷用紙より高価格帯の高級印刷紙は、商業印刷物用途の販売が安定し、出版物や紙製品用途が増加したことで、売上高は35億78百万円、前期比3.4%の増加となりました。

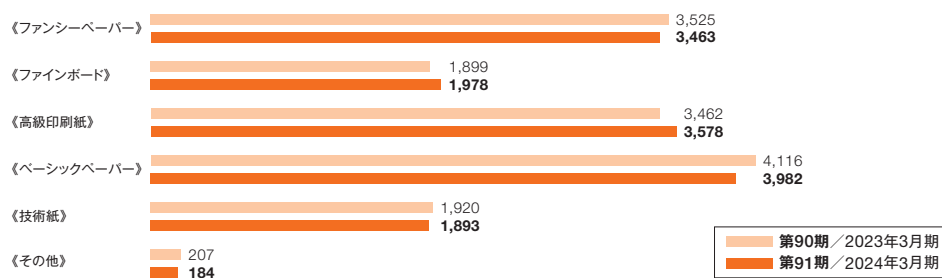
■**技術紙**／通常の紙にはない特殊機能が付与されている技術紙は、各種工業品製造用工程紙や合成紙の販売が堅調に推移しましたが、偽造防止用途や耐水撥水性機能紙の販売が減少し、売上高は18億93百万円、前期比1.4%の減少となりました。

■**ファインボード**／ファンシーペーパーの厚物(板紙)であるファインボードは、各種観光イベント事業の再開に伴い、菓子食品・化粧品などの高級パッケージ向けの販売が回復し、売上高は19億78百万円、前期比4.2%の増加となりました。

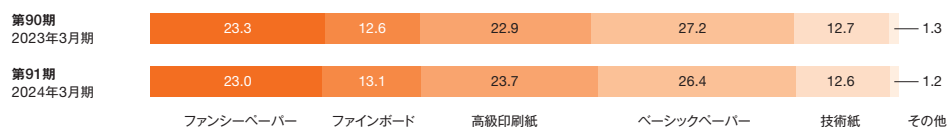
■**ベーシックペーパー**／上質紙、塗工紙、色上質紙などの印刷用紙、包装用紙、各種パッケージ向け板紙などで構成されるベーシックペーパーは、書籍向けや医療品・化粧品パッケージ用途が堅調に推移しましたが、商業印刷物用途および東アジア向け輸出の販売が減少し、売上高は39億82百万円、前期比3.3%の減少となりました。

■**その他**／家庭紙、紙加工品、製紙関連資材などで構成される当区分では、ペーパータオルなど家庭紙の販売および製紙関連資材、紙加工品の販売が減少し、売上高は1億84百万円、前期比11.1%の減少となりました。

品目別の売上高 (単位:百万円)

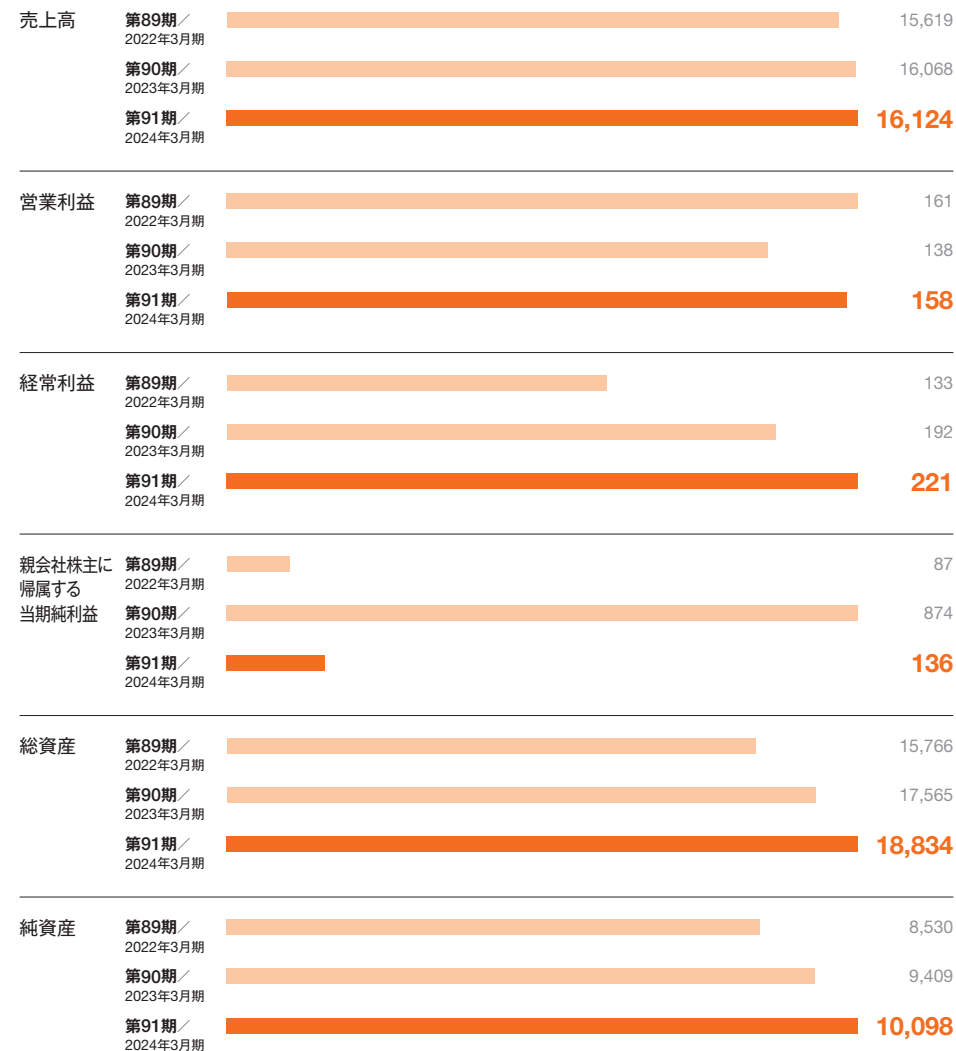


品目別の構成比率 (単位:%)



連結

(単位:百万円)



財務ハイライト

Financial Highlights

連結貸借対照表
(2024年3月31日現在)

(単位：千円)

資産の部	第90期/2023年3月期	第91期/2024年3月期
流動資産	12,477,775	12,756,346
固定資産	5,087,417	6,077,930
有形固定資産	1,953,389	2,133,665
無形固定資産	40,044	34,807
投資その他の資産	3,093,983	3,909,457
資産合計	17,565,193	18,834,277

負債の部	第90期/2023年3月期	第91期/2024年3月期
流動負債	7,542,594	7,714,951
固定負債	612,870	1,020,856
負債合計	8,155,465	8,735,807

純資産の部	第90期/2023年3月期	第91期/2024年3月期
株主資本	8,750,391	8,773,211
純資産	9,409,728	10,098,469
負債純資産合計	17,565,193	18,834,277

連結損益計算書
(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

(単位：千円)

	第90期/2023年3月期	第91期/2024年3月期
売上高	16,068,886	16,124,095
売上総利益	3,234,135	3,288,512
営業利益	138,334	158,052
経常利益	192,110	221,814
親会社株主に帰属する当期純利益	874,804	136,333

個別貸借対照表
(2024年3月31日現在)

(単位：千円)

資産の部	第90期/2023年3月期	第91期/2024年3月期
流動資産	11,378,012	11,790,190
固定資産	5,295,411	6,048,931
有形固定資産	1,902,887	1,877,072
無形固定資産	38,072	30,920
投資その他の資産	3,354,451	4,140,938
資産合計	16,673,424	17,839,121

負債の部	第90期/2023年3月期	第91期/2024年3月期
流動負債	7,093,841	7,289,766
固定負債	553,814	827,718
負債合計	7,647,656	8,117,485

純資産の部	第90期/2023年3月期	第91期/2024年3月期
株主資本	8,470,155	8,573,011
純資産	9,025,768	9,721,636
負債純資産合計	16,673,424	17,839,121

個別損益計算書
(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

(単位：千円)

	第90期/2023年3月期	第91期/2024年3月期
売上高	15,149,558	15,099,494
売上総利益	2,890,297	2,950,395
営業利益	179,640	212,419
経常利益	234,911	300,247
当期純利益	917,926	216,370

非財務ハイライト

Non-Financial Highlights

平和紙業のSDGsへの取り組みについて



平和紙業は、社業である紙の販売を通じて持続可能な社会の実現に貢献すべく、8つの目標を掲げてSDGsの目標に向けて取り組んでいます。

平和紙業が掲げる8つの目標

- 「紙」という持続可能な素材を社会に提供します。
- 脱プラスチックを視野に入れた機能素材を積極的に市場展開します。
- 事業運営に関わる、エネルギー使用の効率化をはかります。
- 環境に配慮した物品購入、公正な調達を行います。
- 誰もが働きやすい職場を作り、ワーク・ライフ・バランスの向上を目指します。
- 学びの機会を増やし、スキルアップを促します。
- 社会貢献を視野に入れたESG投資を行っていきます。
- 国内外で様々なパートナーシップの輪を広げていきます。

平和紙業のSDGsへの取り組み、目標の詳細については、当社ウェブサイトをご覧ください。
<https://www.heiwapaper.co.jp/sdgs/sdgs.html>



8つの目標に対する取り組み (2023年4月1日~2024年3月31日)

- 1 ■
- 下記の商品をFSC®森林認証紙へ順次移行しています。
「パルルック」「パルルックV」「メタルック」「ペインタス」2023年6月生産分より
「ニューラグリンS」2024年3月生産分より
 - 下記の商品をFSC®森林認証紙として新たに発売しています。
「新白垂NS」2023年5月 「エスプリSS-F」2023年7月 「ベイビーフェイスN」2023年9月
「ジェントルS」「ジェントルBOX-S」2023年11月 「エスプリSS-Fエンボス」2023年12月



- 1・2・3・7・8 ■
- 当社では、得意先様をはじめとした、さまざまなお取引先様とのパートナーシップを図りながら、アップサイクルされた紙の提案や開発に取り組んでいます。アップサイクルとは、本来であれば捨てられるはずの廃棄物に、デザインやアイデアといった新たな付加価値を持たせることで、別の新しい製品にアップグレードして生まれ変わらせることを言います。
* 詳しくは、9ページの [Topics CSR] をご覧ください。



- 4 ■
- 物品購入において社内目標を定めています。
* 詳しくは、10ページの [ISO14001環境管理活動について] をご覧ください。



- 5・6 ■
- 2024年3月31日現在の管理職全体に占める女性の割合は、9.5%となりました。



非財務ハイライト

Non-Financial Highlights

■コーポレート・ガバナンスについて

コーポレート・ガバナンスを経営上の重要課題のひとつと捉え、経営の効率化・意思決定の迅速化を推進しています。また、コンプライアンスの実践を重要な経営事項と認識し、当社グループ全従業員に法令および社内規程の遵守を求め、コンプライアンス意識の強化に努めています。

コーポレート・ガバナンスの詳細については、当社ウェブサイトに掲載している「コーポレートガバナンス報告書」をご覧ください。

https://www.heiwapaper.co.jp/ir/governance_report.html



■SDGsへの取り組み事例

エコロジーペーパーの開発とアップサイクルの推進

Topics CSR

生産の原料やリサイクルに付加価値を見いだす考えが広まる中、平和紙業では環境と共生できる紙を「エコロジーペーパー」と位置づけ、開発・提案・販売を通して地球資源の保全活動に長年取り組んでいます。近年、廃棄物を有効利用し、アップサイクルして新たな製品価値を生み出す取り組みが増えてきました。紙においては、廃棄物を木材パルプと混ぜ合わせ、排出元の包装紙やパッケージ用紙、商品のタグなどに使用する「混抄紙」の開発事例が増えています。製造時にどうしても発生する廃棄食品や衣服の端切れなど、今までは捨てられていたものを紙として再利用することは、排出元の環境課題に貢献するだけでなく、誰もが使う紙の利用価値として、SDGsにおけるさまざまな目標に寄与します。

2023年度には、廃棄する予定だったお茶の葉を木材パルプと混ぜ合わせ、お茶メーカー様向けのパッケージ用途の紙へとアップサイクルさせることに取り組みました。こうした数々の混抄紙開発の経験を活かし、食品残渣などを活用したアップサイクルによって生産される紙の量と、出来上がった紙の利用量のバランスなどにも考慮しながら、混抄紙ならではの付加価値を新たな用途にもつなげられるよう、今後ともご提案の機会を増やしていきます。

当社は、紙を通した環境保全活動のパートナーシップの輪をこれからも広げ、SDGsに役立つ紙の開発・提案・販売に注力してまいります。

混抄紙「ういろペーパー」の開発を含む平和紙業のSDGsへの取り組み事例の一部を、下記のウェブサイトにてご覧いただけます。
https://www.heiwapaper.co.jp/sdgs/sdgs_case.html



■ISO14001環境管理活動について

■エコロジーペーパーについて

※普及活動の推進では、勉強会やイベント開催におけるすべての項目で目標を達成しました。

① 普及活動の推進

(全サイト合計)

□得意先 エコ商品 勉強会	目標	26回
	2023年度実績	35回

□仕入先 エコ商品 勉強会	目標	13回
	2023年度実績	16回

□エコイベント	目標	15回
	2023年度実績	16回

② 販売シェアの把握

目標：エコロジーペーパー販売シェア基準値±3ポイント以内

	2023年度実績	2022年度実績
全サイト合計	基準値-3.6ポイント	基準値+0.7ポイント

※基準値とは、前年度の実績を参考に算定した販売シェアの予測値です。

③ 在庫シェアの把握

目標：エコロジーペーパー在庫シェア基準値±5ポイント以内

	2023年度実績	2022年度実績
全サイト合計	基準値-1.0ポイント	基準値-2.0ポイント

※基準値とは、前年度の実績を参考に算定した在庫シェアの予測値です。
※在庫の管理は全サイト一括管理となっています。

■エネルギー使用量について

① 電気（単位：kwh）

	2023年度実績	使用前年度比
全サイト合計	334,133	-0.7%

② 営業車用ガソリン（単位：リットル）

	2023年度実績	使用前年度比
全サイト合計	26,301	-3.0%

※営業車の59.3%にハイブリッド車を導入しています。

■OA用紙使用量について

□PPC用紙（単位：千枚）

	2023年度実績	使用前年度比
全サイト合計	2,189	-4.9%

■グリーン購入シェアについて

目標：グリーン文具購入シェア80%以上

	2023年度実績	2022年度実績
全サイト合計	95.7%	97.1%

平和紙業の環境問題に対する基本方針、基本理念、行動指針については、当社ウェブサイトをご覧ください。
<https://www.heiwapaper.co.jp/environment/plan.html>



PAPERSTORY

Story 08 | Specialty Paper and Printing Process

特集：特殊紙と印刷加工

皆さんが、ファンシーペーパーなどの特殊紙を手にする時、それは書籍の装丁やカタログ、お菓子などのパッケージといった、なんらかの最終製品のカタチになっていることがほとんどです。今回は「特殊紙と印刷加工」をテーマに、私たちがどのような視点で用紙提案をしているか、紙に施す印刷加工の効果や今後に向けたチャレンジについてご紹介します。

■ 用紙提案で大切にしている視点

書籍もパッケージも用途は異なりますが、紙はそれらをかたちづくる1つの素材です。平面だった紙に印刷や加工を施すことで、情報を伝え、より視覚や触覚などの感性に訴える製品へと変化します。私たちがお客様に紙を提案する際、こうした最終製品のカタチを意識しながら、どのような製品として、どのように使われていくかといったニーズやイメージを想像する視点を大切にしています。一方で、紙に印刷や加工を施す方々が重視するのは、紙の耐久性や印刷加工との相性、納期などです。紙の流通から製品化、お客様の手に渡った際の使用に至るまでの過程で、トラブルなくすべての条件をクリアできる紙かどうか重要なポイントとなります。

最終製品に求める意匠的な視点と、印刷加工の現場で求める視点には、時にニーズのギャップが生じます。印刷加工におけるニーズを重視し、扱いやすさを最優先すると、表現としての魅力には乏しくなってしまうこともあります。紙そのものが持つ色や柄、手触り感など、ファンシーペーパーの魅力でもある特徴は、印刷現場からは扱いづらさと敬遠されることもあります。そこで大切になってくるのが、印刷加工を施す方々とのコミュニケーションです。製品に訴求力をもたらす紙の意匠性や印刷加工との相性

など、互いに重視するポイントについて正しく理解を深め、さまざまなニーズや情報を交換しながら二人三脚で対応していく。意匠性の高い紙だからといって、必ずしも印刷に適していないわけではありません。印刷加工における相性を理解したうえで適した加工を施した時、特殊紙と印刷加工は魅力ある製品としての相乗効果を最大限に発揮します。大事なのは、さまざまな情報をしっかりと伝え合う関係性を築くことです。

紙はさまざまな製品に変化する可能性があり、その紙がいつ、どこで、どのように使われるかを正確に把握することはできません。書籍ならば10年20年といった長期保管に耐えることも想定しなければなりませんし、和洋菓子などのパッケージ用途であれば、長期保管のニーズはほとんどありません。用途や耐久期間も異なる中、さまざまなニーズの可能性や選択肢から、関係者と緊密なコミュニケーションを図り、今まで使用したことがない特殊紙の魅力を知っていただき、特殊紙を通して新しいデザインやアイデアを生み出していくところに、用紙提案の醍醐味があります。

■ さまざまある印刷加工の種類

「印刷加工」とひと言で言っても、印刷や加工の種類は数多くあり、その組み合わせを含めるとバリエーションは数えきれません。用途と直結した加工、たとえば書籍であれば「製本化」、パッケージであれば図面から型を切り取り、折りたたみ、「立体化」する工程も「加工」です。また、用途としての必要性とは別に、視覚や触覚に訴求するための加工もあります。

パンフレットやカタログなどの表紙に施されることが多い「ニス引き加工」は、紙表面を保護して耐久性を与えることで、色褪せや汚れを防ぐ効果、印刷時のインクの擦れや印刷面のキズつき、色移りを防ぐ効果があります。紙の表面に光沢感を出して艶やかな仕上がりになる「グロスニス」

や、光沢感を消してマットな仕上がりになる「マットニス」などの種類があります。

「箔押し加工」は金や銀などの金属の質感を表現する加工方法で、キラッとした輝きで人目を惹きつけ、特別感や高級感の演出に非常に効果的です。箔の色と紙の組み合わせによっても印象が異なるため、平和紙業では実際に見ていただける展示会開催を通じてその魅力を発信しています。展示会の様子は13ページのトピックスにてご紹介していますので、そちらもご覧いただけますと幸いです。

このほかにも、イベントや店内で見かける「等身大パネル」のように、好きな型を成形し、そのシールド通りに抜き出す加工もあります。外側を切り抜くだけでなく、内側をくり抜く加工もあります。こうした「切り抜き加工」や「型抜き加工」は、自由な形状を活かしてオリジナリティや訴求力の高いインパクトを与えることができます。

今回の「コーポレート・レポート」の表紙に施しているのは「エンボス加工」です。印刷表現とは異なる印象的な立体感を表現する加工方法で、凸凹の版を紙の両面からプレスすることで、紙の一部を盛り上げたり凹ませたりして立体的に仕上げています。

■ 色の再現性と紙の相性を熟知する

印刷については、これまで主流だったオフセット印刷から、デジタル印刷へのシフトが進んでいます。データから直接印刷できるデジタル印刷は、カタログなどの制作部数が減少している昨今、制作コストを抑えられるというメリットから利用が増えています。色再現性の美しさや豊かさはオフセット印刷の魅力ですが、この10年ほどでデジタル印刷の印刷品質は年々向上しています。その結果、期待する色が表現できないとこれまで敬遠していたイラストレーターやフォトグラファーなどのクリエイターの方々の中でも、デジタル印刷を見直す傾向にあります。

印刷機の性能進化を踏まえ、特殊紙とデジタル印刷機の相性についての分析や研究も進んでいます。平和紙業では複数の印刷会社の協力を得て、デジタル印刷機の機種ごとにさまざまな特殊紙との相性テストを実施し、どの機種にはどのような特殊紙が向いているかといった印刷情報を収集蓄積しています。加えて、クリエイターの方々が表現したい色についてのニーズや情報も蓄積しており、これらの情報を掛け合わせることでお望みのイメージに仕上がる紙と印刷方法のご提案が可能です。

紙や印刷機によって異なる仕上がり表現の識別は、経験がものをいう職人の感覚に近いかもしれません。紙の違いを意識する私たちは、これまでたくさんの紙に触れてきたからこそ、その違いを識別できる知見があります。発色の違いや醸し出される印象の違いは微細で感覚的な部分もありますが、表現を追求するうえでは軽視できないニーズでもあります。感覚や知見、平和紙業として長年蓄積してきた数々の情報を活かして、ニーズに適した特殊紙をご提案しています。

■ 特殊紙と印刷加工の今後の挑戦

紙はSDGsなどの課題解決に貢献できる要素が多く、持続可能な社会に高い価値を持つ素材です。脱炭素や脱プラスチックといった切り口で紙素材を活用することはもちろん、資源循環の視点からアップサイクルへと発展させる素材としても、紙が持つ可能性は大きいと考えています。

今後は加工対象を紙に限定することなく、アクリル樹脂や革製品、木材などに特化した加工技術を持つ企業の方々など、業種業界を問わず多角的な視野を持って積極的に情報収集や意見交換をしていきます。そして、今まで平和紙業がチャレンジしていない加工技術に対しても、私たちの特殊紙を組み合わせることで、これまでにない新たなプロダクトの創出につなげていきます。

トピックス

Topics



ペーパーボイス大阪にて

「箱とファンシーペーパーのコラボ展5」を開催

「箔がつく」(世間に認められて値打ちが上がること・貴禄がつくこと)という言葉があるように、「箔」は製品に特別感や高級感を演出する効果があります。「箔押し加工」とは、金や銀などの金属箔をプレス機で押し当て、熱をかけることで紙に転写する印刷加工方法で、パッケージのロゴなどで金色や銀色にピカッと光っている部分に施されていたりします。

箔押し加工は、平和紙業の取扱商品である特殊紙の中でもファンシーペーパーとの相性が非常に良く、箔のトップメーカーである村田金箔株式会社様と共同企画した展示会「箱とファンシーペーパーのコラボ展」は、今回で5回目の開催となりました。

金銀以外にも多種類の箔とファンシーペーパーの組み合わせを収録した見本帳「HAKU×KAMI」は、前回のコラボ展に続く第二弾を制作し、ネット販売分は1時間程度で完売す

る人気ぶりです。展示会のコメントとともにSNS上でも評判となりました。展示会場では、見本帳に収録した箔と紙で制作したパッケージサンプルやミニタグなどを一堂に展示し、紙器加工や装丁関係の方々をはじめとして、箔と紙の表現を見比べられて大変参考になると好評を得ました。

これからも紙と印刷加工の情報発信を通して、製品をより素敵に魅せる紙ならではの表現効果やモノづくりに貢献していきます。

会期 2023.6.14-6.28

巡回展 2023.10.16-10.30 ペーパーボイスヴェラム

連動開催 「箱とファンシーペーパーのコラボ1~4thアーカイブ展」
2023.6.12-6.30 ペーパーボイス東京



ペーパーボイス大阪にて

「機能紙展 アレコレソレ」を開催

2023年11月6日から17日にかけて、さまざまな「機能紙」を紹介する展示会を開催しました。「機能紙」とは特有の機能性を持たせた紙の総称で、水や油に強い、破れにくいなど、一見紙の機能としては認識されにくい機能性を付与することで、コースターやクリーニングのタグといった、生活の中で意外と身近な用途に使われているものも多くあります。

平和紙業の取扱商品である機能紙は、今まで大々的にPRする機会が少なく、特性や用途など、まだまだ知られていない商品がたくさんあります。そこで、機能紙を用途別に展示し、紙に詳しくない人が見てわかりやすい、体感する展示会を企画しました。

水を用いた実験コーナーは非常に好評で、水に強い「OKレインガード」がどのように水をはじくのか、実際に紙に水を落とすと歓声を上げて驚く方もいらっしゃいました。また、クリーニングのタグに使用されている「耐洗紙」がクリーニ

ングの前に服につけられることを初めて知る方が多く、クリーニングでも折れたり破れたりしない機能性と紙の便利さを知ることができたと大変好評でした。

機能紙はプラスチック素材に代わる用途としても活用でき、環境に配慮した商品としてSDGsにも貢献する素材として、高い付加価値があります。平和紙業はこれからも機能紙の開発や販売に力を入れ、環境保全や社会に役立つ紙を広めていきます。



VERCRAY CoC ヴァークレイCoC

「ヴァークレイCoC」は、環境面に十分配慮した高級印刷用紙です。

- 〈商品規格〉 四六判 Y目 90kg・110kg・135kg・180kg
 菊判 T目・Y目 62.5kg・76.5kg・93.5kg・125kg
 色 ハイホホワイト
 FSC®森林認証紙 (FSC®C005596)
 カーボン・オフセット認証紙
 グリーン購入法適合銘柄

「ヴァークレイCoC」は、オフセット・クレジット(J-VER) 制度を活用し、使用した重量に相当する温室効果ガスを削減する仕組みを持つカーボン・オフセット認証紙です。

「カーボン(炭素)・オフセット(埋め合わせる)」とは、日常生活や経済活動において排出量削減の努力をしてもどうしても排出される温室効果ガスについて、排出量削減または吸収量増加につながる活動に投資することで、排出量に見合った分を埋め合わせるという考え方です。

J-VER制度とは、信頼性のある国内プロジェクトによって実現された温室効果ガスの排出削減量や吸収量を、カーボン・オフセットに用いられるクレジットとして国が認証した制度です。

ここでの温室効果ガスとは二酸化炭素のことを意味し、省エネルギー設備の導入などにより削減した排出量をクレジットとして保有する「排出削減系」と、森林経営などにより増加した吸収量をクレジットとして保有する「森林吸収系」に分けられます。

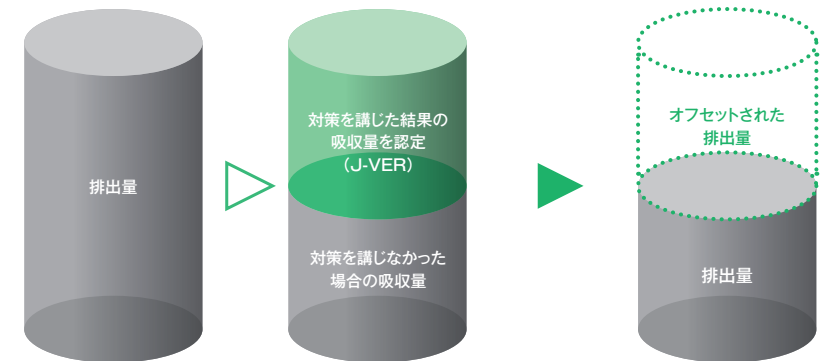
「ヴァークレイCoC」は、王子グループの社有林による森林吸収系プロジェクトが受けた認証クレジットを利用しており、社有林の木々が吸収した温室効果ガスのクレジットを「ヴァークレイCoC」の販売重量分購入することで、販売重量に相当する温室効果ガスを削減したとみなすことができる仕組みです。

平和紙業は「ヴァークレイCoC」の販売によるクレジット購入を通して、森林保全活動の支援や低炭素社会の形成を推進しています。

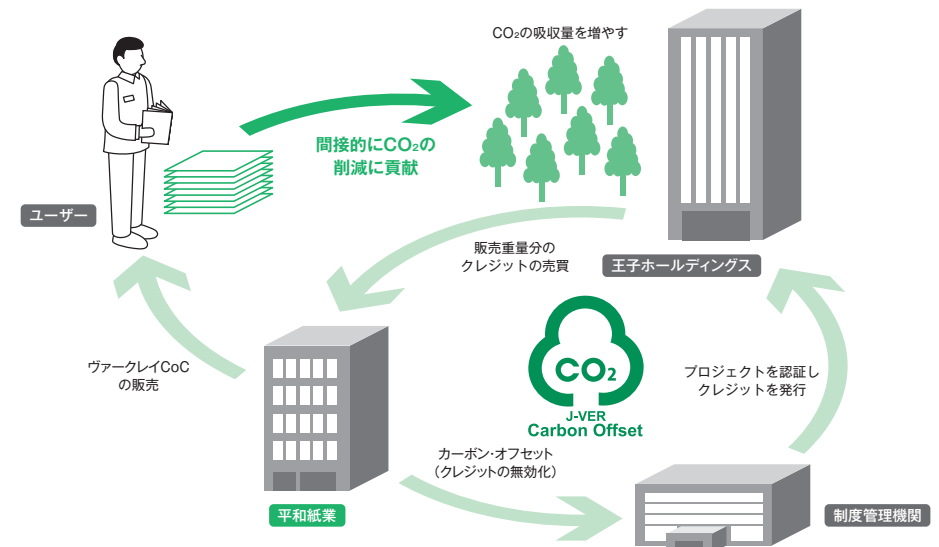
* J-VER制度は環境省が2008年に創立し、2013年からJ-クレジット制度へと移行しました。

カーボン・オフセットの仕組み

埋め合わせ(カーボンオフセット)



カーボン・オフセット認証紙の仕組み



会社概要

Company Overview

会社沿革

1946年 3月	平和紙業株式会社を創立 大阪市に本店を、名古屋市に支店を開設し、洋紙・板紙の販売を開始
1954年11月	高級紙・特殊紙のオリジナル商品の在庫販売を開始
1956年11月	東京都中央区に東京営業所(現：東京本店)を開設
1962年12月	大阪府布施市(現：東大阪市)に倉庫を設置
1964年10月	愛知県小牧市に倉庫を設置
1972年 1月	福岡市に福岡営業所(現：福岡支店)を開設
2月	仙台市に仙台営業所(現：仙台支店)を開設
6月	現地法人平和紙業(香港)有限公司を設立
1974年 8月	倉庫・加工および配送業を移管し、東大阪市に平和興産株式会社を設立 手抄和紙の拡販を目的として、名古屋市に株式会社辻和を設立
1976年 8月	名古屋に“ヴェラム”(現：ペーパーボイスヴェラム)を開店
1977年 9月	東京にショールーム(現：ペーパーボイス東京)を開店
1978年 9月	広島市に配送センター(現：広島事業所)を開設
1982年11月	大阪支店に“PAP”(現：ペーパーボイス大阪)を開店
1983年11月	札幌市に札幌デポ(現：札幌事業所)を開設
1987年 5月	大阪本社および東京本社の2本社制を実施
1988年10月	富士市に富士デポを開設
1991年 2月	第1回新株引受権付社債の新株引受権の権利行使により、資本金6億9,000万円に増資
1992年 9月	大阪証券取引所市場第2部上場により、新資本金13億6,800万円に増資
1995年 5月	東大阪市にある倉庫を全面改築し、“ペーパーロード大阪”と改称
1997年 4月	公募による新株式150万株発行により、新資本金20億8,435万円に増資
2002年 8月	1999年の東京本店を皮切りに、全本支店で「ISO14001」審査登録
2005年 4月	本社機能を東京に集約
2008年 4月	ムーサ株式会社と合併
2014年 6月	登記上の本店所在地を東京都中央区に変更
2015年 1月	名古屋市中区に名古屋支店を移転 ペーパーボイスヴェラム(名古屋)移転によりリニューアルオープン
2019年10月	ペーパーボイス東京を全面改築し、リニューアルオープン
2024年 5月	大阪本店社屋耐震補強工事により、大阪市中央区から東大阪市に一時移転



新築時の大阪本店社屋

大阪本店は一時移転いたします

現在の大阪本店社屋は、創立20周年記念事業の一環として、鉄筋コンクリート4階建てにて1968年8月に新築しました。その後、2001年に内装などのリニューアル工事を実施しましたが、設備等の老朽化もあり、2024年5月から約1年をかけて耐震補強およびリニューアル工事を行います。工事期間中は、大阪府東大阪市にある「ペーパーロード大阪」(平和興産株式会社 大阪事業所内)に拠点を移して営業を継続し、工事完了後はリニューアルした社屋にて営業活動を再開いたします。

この間、ペーパーボイス大阪のペーパーショップならびにギャラリーの運営は休止させていただきます。

なお、ペーパーショップで販売しておりました一部の商品(全紙規格品など)につきましては、移転先でのお渡しや発送にて販売対応が可能なものもございます。

ご利用いただいている皆様には大変ご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

■大阪本店 一時移転先所在地

〒577-0005

大阪府東大阪市七軒家19-15 ペーパーロード大阪4階

(平和興産株式会社 大阪事業所内)

TEL：06-4967-5010(代表)

FAX：06-4967-5015(代表)

大阪本店一時移転における詳細やペーパーボイス大阪での販売対応については、当社ウェブサイトよりご確認願います。

大阪本店一時移転について

<https://www.heiwapaper.co.jp/news/2024/04/post-191.html>

ペーパーボイス大阪一時休館について

<https://www.heiwapaper.co.jp/news/2024/04/PAPERVOICE-OSK.html>



株式の状況 (2024年3月31日現在)

- ①発行可能株式総数 19,908,000(株)
 ②発行済株式の総数 10,116,917(株)
 ③株主数 1,953(名)
 ④大株主の状況(上位10名)

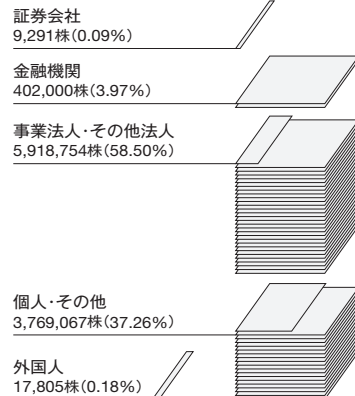
当社への出資状況

株主名	持株数 (単位:株)	持株比率 (単位:%)
特種東海製紙株式会社	814,100	8.61
王子エフテックス株式会社	745,000	7.88
平和紙業取引先持株会	584,300	6.18
日本製紙株式会社	313,500	3.31
北越コーポレーション株式会社	306,000	3.23
富士共和製紙株式会社	282,900	2.99
小島勝正	255,443	2.70
東京製紙株式会社	253,350	2.68
清家豊雄	221,872	2.35
春日製紙工業株式会社	202,750	2.14

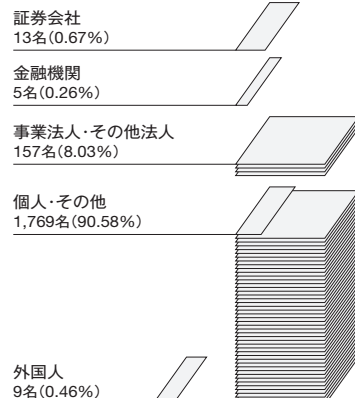
(注)当社は自己株式を657,395株保有しておりますが、上記大株主から除外しております。持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株主分布状況・重要な子会社の状況

□ 株式総数 10,116,917(株)



□ 株主総数 1,953(名)



会社名	資本金 (単位:百万円)	当社の議決権比率 (単位:%)	主要な事業内容
平和興産株式会社	60	100	物流・保管・紙加工業
株式会社社和	10	100	和洋紙卸売業
平和紙業(香港)有限公司	10百万HK\$	100	和洋紙卸売業

平和紙業株式会社 Heiwa Paper Co., Ltd.

事業所一覧

□ 本社・本支店

本社 〒104-0033 東京都中央区新川1丁目22番11号 Tel: 03-3206-8501
 東京本店 〒104-0033 東京都中央区新川1丁目22番11号 Tel: 03-3206-8511
 大阪本店 〒577-0005 東大阪市七軒家19番15号 ペーパーロード大阪4階 Tel: 06-4967-5010
 名古屋支店 〒460-0003 名古屋市中区錦1丁目3番7号 Tel: 052-223-2310
 福岡支店 〒812-0007 福岡市博多区東比恵3丁目23番34号 Tel: 092-474-1812
 仙台支店 〒984-0015 仙台市若林区卸町3丁目1番7号 Tel: 022-235-0811
 札幌事業所 〒060-0013 札幌市中央区北13条西17丁目1番41号 Tel: 011-717-3221
 広島事業所 〒733-0833 広島市西区商工センター6丁目5番9号 Tel: 082-277-6336
 富士デポ 〒416-0946 富士市五貫島字地神1088 Tel: 0545-63-1175
 若洲デポ 〒136-0083 東京都江東区若洲2丁目4番18号 Tel: 03-3522-8280
 ペーパーロード大阪 〒577-0005 東大阪市七軒家19番15号 Tel: 06-6744-5572
 名古屋デポ 〒485-0056 小牧市小木南1丁目1番1号 Tel: 0568-77-5335

□ ペーパーショップ・ギャラリー

Paper Voice Tokyo 〒104-0033 東京都中央区新川1丁目22番11号 Tel: 03-3206-8541
 Paper Voice Vellum 〒460-0003 名古屋市中区錦1丁目3番7号 Tel: 052-223-2314

* Paper Voice Osakaは現在、耐震補強工事のため一時休館しています。



真砂紙 純白 四六判 Y目 160kg (FSC®森林認証紙)
 *白い砂浜を思わせる肌合いと、細かな斑点がアクセントとなった和紙風のファンシーペーパーです。
 ヴァークレイCoC ハイホワイト 菊判 T目 62.5kg
 (FSC®森林認証紙 カーボンオフセット認証紙 グリーン購入法適合銘柄)
 *使用した重量相当の温室効果ガスを削減する仕組みを持つ環境配慮型の高級塗工印刷用紙です。
 植物油インキを使用しています。